

1 事業概要

		課名	産業振興課	事業No.	165
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		1	若者が帰ってこられる産業をつくる	
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017	
				飯田市版総合戦略	
法令・例規等					
事業目的		対象	飯田・下伊那の高校生		
		意図	地域産業の将来を担う人材の育成と確保		

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	・高校1年生を対象に、地域産業を学び自らの進路を考える説明会を設けるとともに、就職を考えている高校3年生には管内の企業への認識を深め、地域内就職につなげるため、企業見学会を実施しました。 ・短期間で終了してしまう従来型のインターンシップを拡充し、高校生が進学をしても長期に亘って企業との関係性を継続でき、交流を深めることでUターン就職に結びつける新たな仕組みづくりの検討を行いました。 ・高卒地元就職者を対象とした新社会人育成講座は、不安解消や対人関係のコミュニケーション能力が向上するなど、離職傾向にある若者の就労支援につながっています。		高校生人材育成支援				903	
			UIターン就職支援				451	
				その他の経費			0	
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	地域産業説明会開催高校	校	2	2				
	新社会人育成講座参加者	人	49	48				
	高卒就職者	%	22.3	20.6				
	大卒等就職者	%	20.9	20.4				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,570	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	1,354	(そ) 地域雇用創出推進基金繰入金					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	1,354					
	一般財源	0						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	5	1	1	10	4	1,570	1,354	雇用対策事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		高校卒業後約7割が進学していく状況の中、地域企業への理解と就職の動機を高める必要があります。小中学校から高校・大学までを対象とした一貫したキャリア教育を、産学連携により地域ぐるみで推進する体制づくりが求められています。また、短期間のインターンシップでは、企業の魅力を伝えるには十分とまではいえないため、新たな視点による企業と高校生が交流できる環境を整備する必要があります。							
上記の課題解決のための有効策		高校生の内発的な企業との関わりや交流を長期間実施することで、企業に対する理解が深まり、進学しても企業や地域とのつながりが継続し、Uターン就職に結びつけることができます。							
次年度に向けての取り組み		高校生が進学しても長期に亘って企業との関係性を継続し、交流を深めることでUターン就職に結びつくモデル事業を実施します。							